

## 令和 6 年度 看護学部卒業生就職先へのアンケート調査結果について

### 1. 背景

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成 30 年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって 3 つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、令和 5 年度卒業生が臨床研修医・臨床研修歯科医・薬剤師・看護師等として従事している医療機関等を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

### 2. 概要

- 調査対象 令和 5 年度卒業生が看護師等として従事している医療機関等  
(調査対象数：46)
- 調査期間 令和 6 年 8 月～9 月
- 実施方法 インターネット (Google Form) を利用した Web アンケート
- 質問内容 ①学部ごとの学位授与方針 (DP) に対する本学卒業生の実態について  
②本学の教育に求める内容について

### 3. 結果

回収率 60.9% (28/46)

協力機関 紫波町、三宿病院、西八王子病院、自治医科大学さいたま医療センター、市立札幌病院、社会医療法人壮幸会 行田総合病院、吉祥寺病院、国家公務員共済組合連合会立川病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、医療法人社団敬和会、順天堂大学医学部附属浦安病院、東北公済病院、一般財団法人 住友病院、仙台厚生病院、仙台厚生病院、湘南鎌倉総合病院、地方独立行政法人宮城県立病院機構、北里大学病院、国際医療福祉大学成田病院、日本医科大学付属病院、jcho 仙台病院、順天堂大学浦安病院、一関市 (匿名希望機関以外)

詳細は別紙の通り。

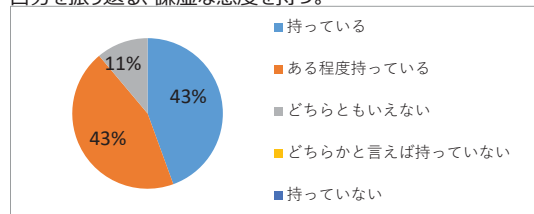
### 4. 総括

- ・ディプロマ・ポリシーの前半 5 項目に対しては肯定的な評価が多く、特に「全人的人間性」「苦痛や苦悩への共感」「看護の専門職性」に対する評価が高い。一方、後半の 4 項目は「どちらともいえない」が多く、現時点では評価できる状況がなかった可能性も考えられる。
- ・本学の教育に求めるものとして、「コミュニケーション能力」「倫理観」「協調性」などへの要望が多い。「コミュニケーション能力」については特に「对患者」「対同職者」に対して求められており、患者との間だけでなく、先輩や他職種と仕事を円滑に進めるためにも重要であるとのコメントが寄せられている。
- ・職場での働きぶりを評価するコメント、今後への期待が複数寄せられている。

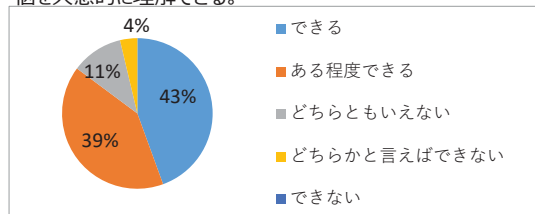
## 看護学部

Q 1. 岩手医科大学看護学部では、以下の9の資質を身につけた者に学位を授与する方針を掲げております。貴医療機関等に就職した本学卒業生がそれぞれの資質をどの程度身につけていたか評価をお知らせください。

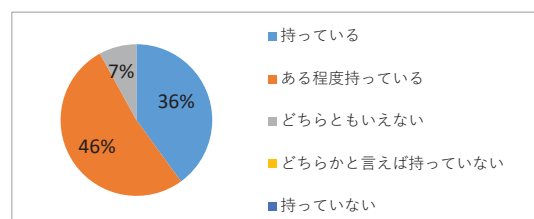
医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。



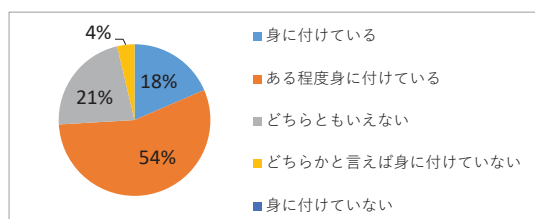
生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。



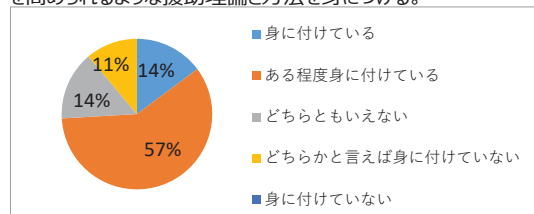
看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。



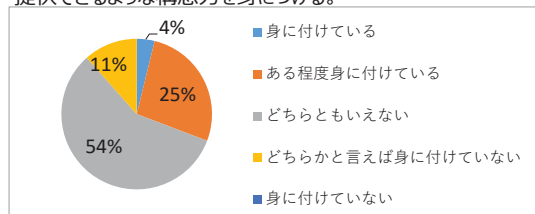
看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。



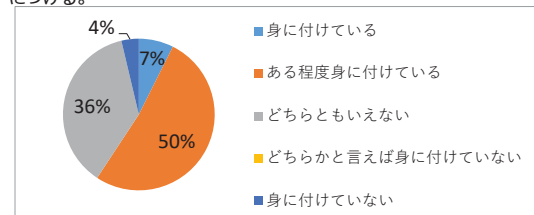
患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。



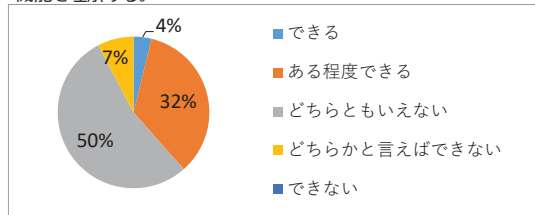
災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。



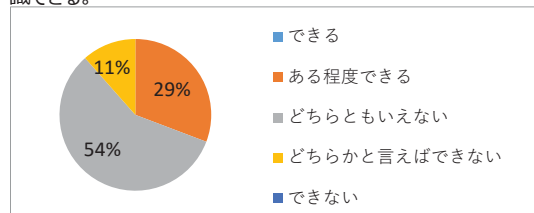
保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。



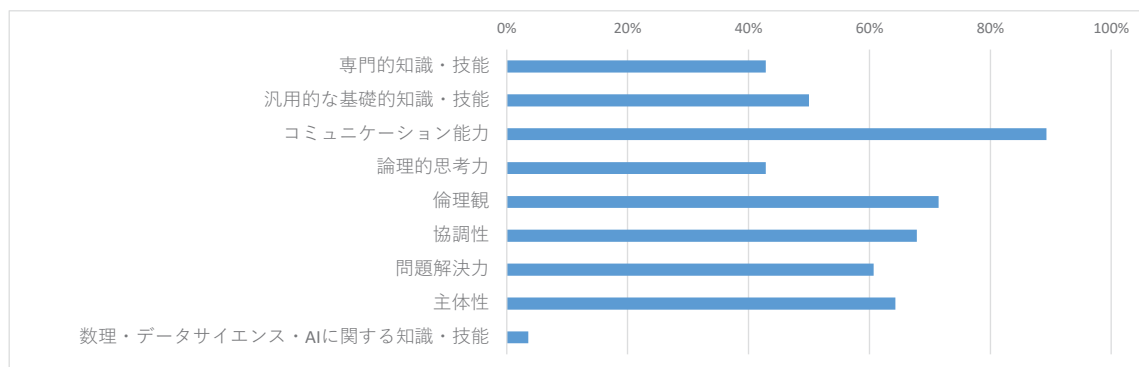
コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。



変動する国際社会にあって、看護職者の役割を国際的な視野で認識できる。



Q2. 本学の教育に求めるものについてお伺いします。



その他 なし

Q3. コミュニケーション能力を選択された場合、特にどのような場面で期待するか教えてください。(複数選択可)

